



絵画の レシビ

宮本三郎の表現と画材

*saburo miyamoto's
expression and painting materials*

世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館
2009年8月1日(土)～11月29日(日)

www.miyamoto-saburo-annex.jp

「材料への喜びを見出しうる人にこそ、 自然の美しさが大きく見ひらかれる」

(宮本三郎『少年の画室』、1956年、東峰書房)



《図案》1958年頃
紙・鉛筆・クレヨン・水彩



《人物》1958年頃
紙・鉛筆・クレヨン・水彩



《バレリーナ》年代不詳
紙・鉛筆・クレヨン・水彩

画材と表現の密接な関係は、食材と調理の関係にとってもよく似ています。画材は食材、絵画の技法は料理のレシピ。そのような見方をすると、美術もまた別の楽しみかたがあるのではないのでしょうか。紙やキャンバスと、鉛筆や絵具などの画材によって構成されている絵画。洋画家・宮本三郎(1905-1974)は、これらの画材を自在にあやつり、多くの作品を生み出しました。

「一枚一枚と描くにしがって、ザラザラした粗末な紙にも、一本の鉛筆から生れる線にも、ある喜びがわき出てきます。この、材料そのものへの愛情や喜びを見出すことこそ、あなたのデッサンの進歩に大きな力となるのです。」(同上)

この言葉からは、宮本の画材への愛着が読みとれます。材料への愛情とそれを使う喜びが、彼の画家としての豊かな知識と確たる技術を培うことにつながり、その多彩な絵画表現を支えていたのでしょう。本展では、宮本三郎が愛用した鉛筆や絵具、パステルなどの画材をご紹介します、それら画材の持ち味をぞんぶんに活かして描いた人物、静物、風景、カットなどを展示いたします。宮本三郎の絵画のレシピ、そして、その色とりどりの表現を味わっていただきたいと思います。

《コーナー展示：暮らしの手帖「9人の画家がえらんだクレヨンとパスの色より」》
1959(昭和34)年、雑誌「暮らしの手帖」49号誌上で、「9人の画家がえらんだクレヨンとパスの色」という企画が特集されました。これは、当時発売されていた15銘柄のクレヨン、パスの描き心地を検証するというもので、宮本三郎は梅原龍三郎や小磯良平とともに企画に協力しました。本展では、実験で用いられ、誌上では掲載されなかった9人の画家たち自筆の画用紙を暮らしの手帖社より特別にご提供いただき、初公開としてご紹介いたします。
(企画協力・提供：暮らしの手帖社)



絵画のレシピ 宮本三郎の表現と画材

2009年8月1日(土)～11月29日(日)
世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 世田谷区奥沢5-38-13 TEL:03-5483-3836

■開館時間／ 10:00～18:00(入館は17:30まで) ■休館日／毎週月曜日
(ただし祝休日の場合は開館、翌日休館)、9月24日(木)は休館 ■観覧料／一般
200円(160円)、大・高生150円(120円)、中・小生、65歳以上、障害者の方
100円(80円) ※()内は20名以上の団体料金。中・小生は土・日・祝休日及び
夏休み期間は無料。障害者で小・中・高・大学生、および障害者の介護者
(当該障害者1名につき、1名に限る)は無料。■交通／東急大井町線・東横線
「自由が丘」駅(徒歩7分)、東急大井町線「九品仏」駅(徒歩8分)、東急目黒線
「奥沢」駅(徒歩8分)



www.miyamotosaburo-annex.jp

本館情報

世田谷美術館 www.setagayaartmuseum.or.jp

〒157-0075 東京都世田谷区松公園1-2

電話03-3415-6011(代) ハローダイヤル03-5777-8600

■企画展

日本メキシコ交流400周年記念

「メキシコ20世紀絵画展」

7月4日(土)～8月30日(日)

「オルセー美術館展 パリのアール・ヌーヴォー」

9月12日(土)～11月29日(日)

■収蔵品展

「人々のものがたりPartII 利根山光人とマヤ・アステカの拓本」

7月16日(木)～9月11日(金)

「和のいろ・かたち—日本画と工芸作品を中心に」

9月19日(土)～12月17日(木)

分館情報

清川泰次記念ギャラリー

www.kiyokawataiji-annex.jp

〒157-0066 世田谷区成城2-22-17

電話03-3416-1202

■「清川泰次 絵画に宿る詩情」8月1日(土)～11月29日(日)

向井調吉アトリエ館 休館のお知らせ

向井調吉アトリエ館は、耐震調査の結果、耐震化工事が必要となりました。

今後も皆さまに安全にご利用いただくため、急ぎ、平成21(2009)年3月16日(月)より当分の期間、休館することになりました。皆さまにご迷惑をおかけすることを、心よりお詫言申し上げます。どうぞご理解をいただきたくお願い申し上げます。工事期間や再開の時期については、決定次第、「情報ガイド」(せたがや文化財団情報紙/毎月25日発行)、ホームページなどでお知らせをいたします。今後とも、ご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

向井調吉アトリエ館が休館のため、
世田谷美術館2階ライブラリー前の小コーナーにて、
8月1日(土)から11月29日(日)まで、
向井調吉がルーヴル美術館で模写した作品を展示いたします。



向井調吉
《泉(アングルの模写)》
1929年